

阿南市版「ラーケーションの日」について (実施要項素案)

1 目的について

児童生徒が保護者等と一緒に、平日に校外（家庭や地域等）において、体験や探究の学び・活動を自ら企画し実行することとおして、自ら学び考える力を育成するとともに、保護者等の休みに合わせて、家族と過ごす時間を確保し、子どもの今の生活を振り返り、今後についてゆっくりと話し合う機会を創出する。

2 内容について

保護者の申請によって、目的に即した活動等を行うことにより、児童生徒が登校しなくても欠席としない日を設定する。

3 対象について

阿南市立小。中学校に在籍する児童生徒とする。

4 制度の導入について

令和8年度（令和8年4月1日）から導入する。

5 取得日数及び取扱について

- (1) 1日単位で取得するものとし、時間単位の取得は認めない。
- (2) 年度内（毎年4月1日～翌年3月31日の間）に3日まで取得可能とし、連続して取得することを可能とする。ただし、取得しなかった残りの日数を次年度に繰り越すことはできない。
- (3) 取得した日の取扱は、学校に登校しなくても欠席としない、「出席停止・忌引等」とする。（出席簿、指導要録等）

6 取得の条件について

- (1) 児童生徒のみでの活動は認めず、保護者と一緒に活動することとする。ただし、各家庭により特別な事情が認められる場合は、祖父母や成人した兄弟等「保護者が同意した大人」であることを要件として、保護者以外の者に代えることができる。
- (2) 保護者が事前に学校へ申請手続きを行うことで取得できるものとし、過去の活動を適用することはできない。
- (3) 学校行事やテスト期間中等、学校が定める「取得できない日」は、「ラーケーションの日」を取得できない。

7 申請方法について

- (1) 児童生徒が保護者とともに「ラーケーションの日」の内容を企画し、保護者は、学校が定める期日までに『「ラーケーションの日」届出書（様式1）』（以下「届出書」）に必要事項を記入して、児童生徒が在籍する学校に提出する。
- (2) 「届出書」を受け付けた学校は、児童生徒の安全管理のため、保護者に対して申請内容を確認し、必要に応じて資料等の提出を求める。

8 「ラーケーションの日」実施後の対応について

- (1) 児童生徒は、保護者とともに活動の振り返りを行い、学んだことや体験したことなどを、今後の学校生活や日常生活にどのように活かしていくか家族で話し合う。
- (2) 学校への「実施報告書」等の提出は、原則求めない。
- (3) 「ラーケーションの日」を取得したことで受けることができなかった授業等の内容は、家庭で補うものとする。

9 その他

- (1) 「ラーケーションの日」における給食費は、申請時点で給食停止が可能であれば発生しない。

※導入にあたり予想される課題

- ・給食を止めた場合の返金等の事務作業
- ・出席簿の入力、出欠状況の処理（通信簿、指導要録）
- ・連続で3日取得した児童生徒や複数の児童生徒が同じ日に取得した場合の対応
 - 個人の学習の遅れ、学級の授業への影響、配付物、連絡事項など
 - 取得が集中した場合の対応をどうするか（開店休業状態）
 - 「ラーケーションの日」に出された課題等について評価対象とするか
- ・登校しなかった日の学習や授業の対応（家庭学習で取り戻すと言っても…）
- ・取得できない日の周知をどうするか（年間行事予定、月別行事予定など）
- ・家庭の事情等により、「ラーケーションの日」を取得できない児童生徒への配慮をどうするか

（資料）徳島県教育委員会が作成した県立学校用リーフレット、HPの内容より

1 「ラーケーションの日」とは（目的について）

- (1) 児童生徒が保護者等と一緒に、平日に校外（家庭や地域）で、体験や探究の学び・活動を自ら企画し実行する日。
- (2) 保護者等の休みに合わせて家族との時間を確保し、子供のいまの生活を振り返り、今後についてゆっくりと話し合う機会を創出するための日。

2 内容

- (1) 校外での自主学習であるため、学校に登校しなくても欠席にならない。出席停止と同等の扱いとなる。
- (2) 保護者等の休暇に合わせて、事前に学校へ申請手続きを行うことで取得できる。
- (3) 年間3日まで取得（1日単位）可能。連続して取得することも可能。ただし、残った日数を次年度に繰り越すことはできない。

3 条件

- (1) 保護者等と活動する必要がある。
- (2) 学校ごとに、学校行事やテスト期間など「ラーケーションの日」を取得できない日がある。
- (3) 「ラーケーションの日」を取得したことで受けられない授業の内容は、家庭で自習をする。

4 申請の流れ

- ① 計画を立てる。
どこで何を学ぶかなど、家族で一緒に計画を立てる。
- ② 学校に届け出る。
学校の指定する方法で、事前に届け出る。
- ③ 「ラーケーションの日」を実行する。
家族で校外での体験、探究の学びや活動を実行する。
- ④ 振り返る
活動の振り返りを行い、今後の学校生活や日常生活にどのように活かしていくか、家族で話し合う。